

御船高校生の皆さんへ

もしもの時の行動・連絡先

1 事故に遭った場合

- ①自分の体に異常がないか確認する（痛みがないか、動かない箇所はないか）
- ②相手の特徴をメモする（ナンバー、車の色、形をメモする）
- ③必ず警察に連絡する（ケガがなくても警察に通報する義務があります）
- ④相手方の氏名・連絡先を確認する（聞いたら携帯電話で一度かけてみる）
- ⑤「大丈夫」と言わない（相手が立ち去ってしまう可能性あり）
- ⑥保護者・学校に連絡をする（大人が間に入り処理をします）

※事故を起こしてしまった場合も同様に安全の確認、警察への連絡を行うこと。
保護者や学校に連絡すること。場合によっては他者に助けを求めること。

2 事故や犯罪を見た場合

- ①状況を説明できるよう、関係する人物の特徴や車の色などをメモする。
- ②カメラで現場を撮る。（加害者にカメラを向けると逆上する可能性もある）
- ③自分が巻き込まれないよう安全を確認し、被害者の保護を行う。
- ④警察への連絡や、必要に応じて警察官への状況説明を行う。
- ⑤保護者や学校に連絡し、状況説明のため登校・帰宅時間が遅れる旨を伝える。

※自分が事故や犯罪に巻き込まれないよう十分に注意して、必要であれば、警察（110）や消防・救急車（119）へ連絡をする。

3 つきまとい・声掛けにあったとき

- ①相手の特徴や話した内容、車の色やナンバーなどを覚えておく。
- ②何を聞かれても、自分に関すること（名前、年齢、住所、中学校名、家族のことなど）は答えない。ついて行かない。
- ③挑発的、否定的な返事を続けると、相手が逆上する可能性があるため、周囲の人に助けを求めたり、コンビニに入るなど一人にならないようにする。
- ④周囲に人がいないときは、全力で逃げる。相手が車の時は、車の進行方向と逆に逃げる。
- ⑤その時の状況や会話の内容を保護者・学校・警察に連絡すること。

※大きな事件に発展する可能性があります。心構えをしておくことで落ち着いて対処できます。困った場合は、友達に電話するふりしてその場をやり過ごすこと。自分で捕まえようとしたりしないこと。

4 災害への備え

- ①命を守ることを第一優先に考える。
- ②家族との災害時の連絡方法を確認しておく。
- ③家族と災害マップをもとに避難計画を作っておく。
- ④登下校の途中の避難所を確認しておく。
- ⑤大雨や土砂崩れの可能性がある場合は、早めの避難を心がける。

※水害や台風などは事前に防災サイト等で状況の確認をすること。地震などの予測できない災害が発生した場合、命を守ることを第一優先にする。

5 相談機関一覧

学校のこと、家庭のこと、その他のことで悩みがある場合、一人で考え込まず、だれかに相談してください。相談することで気持ちが落ち着くこともあります。

御船高校	096-282-0056
御船警察署	096-282-1110
上益城消防本部（御船消防署）	096-282-1955
御船町役場	096-282-1111
熊本県24時間子どもSOSダイヤル	0120-0-78310
すこやか子育て電話相談	096-383-6636
肥後っ子テレホン（熊本県警察本部肥後っ子サポートセンター）	096-384-4976
熊本県中央児童相談所	096-381-4451
熊本県ヤングケアラー相談支援センター	096-384-1000
精神保健福祉センター（熊本市以外に住む方が対象） 心の健康相談	096-386-1166
熊本市こころの健康センター（熊本市に住む方が対象） 心の健康相談	096-362-8100
熊本こころの電話	096-285-6688
熊本いのちの電話（年中無休・24時間対応）	096-353-4343
こどもの人権110番	0120-007-110
熊本市子ども・若者総合相談センター	096-387-7000
熊本県こころの悩み電話相談	0570-030-556
性暴力被害者のためのサポートセンターゆあさいどくまもと	096-386-5555